

大東寝具工業株式会社

IT活用とものづくりを融合した高度なコンサルティング販売で快眠を実現する

IT活用により、直営店だけではなく訪問販売、社外催事販売、通信販売でも、お客様一人ひとり異なる睡眠課題の解決をお手伝いする“顧客”対応の高度なコンサルティングを全販売チャネルで行う革新的な体制を構築し、真のオーダーカスタマイズの商品を提供する。

■代表者 代表取締役社長 大東 利幸
 ■設立 昭和38年9月20日
 (創業 大正14年11月)
 ■資本金 10,000千円
 ■従業員数 23人
 ■業種 繊維工業
 ■所在地 〒612-8238
 京都府京都市伏見区横大路下三栖山殿66-2

■TEL・FAX 075 (622) 6245・075 (622) 1337
 ■URL <http://www.daitoushingu.com>
 ■E-mail info@daitoushingu.com
 ■拠点 〒612-8238
 京都府京都市伏見区横大路下三栖山殿66-2



事業の概要

■最初の変革 (1992年) 製造から販売へ

当社は寝具、布団製造業として大正14年(1925年)に創業しました。その当時の繊維産業は日本の主力産業であり、布団製造も繊維工業の一つとして花形でした。布団を製造して、室町の布団問屋に卸すという業態でした。

高度経済成長の時代を迎えると、繊維産業は花形ではなくなり、繊維の街室町もかつてのような勢いがなくなりました。日本人の生活習慣も大きく変化し、寝具も布団からベッドへと多様化してきたため、布団の製造だけでは変化についていけないことを実感し、直接販売を行うことにしました。工場の一部を改修し、雑貨などを扱うアウトレットの店を開店しました。これが最初の変革です。

■第二の変革 (2001年) ネット販売へ

お店の所在地が京都市の南、横大路にあり、工場地帯で交通の便が悪いということもあり、寝具や雑貨を扱う店の売り上げは伸び悩みました。インターネット通販での販売が増えだしたことで、大手のネット販売サイトと契約を結び、ネット通信販売を開始しました。単にお布団の販売だけでは目新しさがないので、「寝具のインテリア化」を目指しました。お布団だけでなく、寝室をまとめておしゃれにコーディネートできるような商品を取り揃えました。これが第二の変革です。

ところが、ネット販売を手掛けて、布団を製造しながら卸販売のために自社の商品がほとんどないことに気が付きました。商品名、商品カタログ、説明書など、最終商品としての形態になっていなかったのです。他社製品を仕入れてネットで販売するという事業は、売上は上がりましたが、仕入れ販売のため原価も高く、通販の手数料も結構高いので、ほとんど利益が出ない、儲からないという状況でした。

■第三の変革 (2006年) 睡眠のプロフェッショナルへ

ネット通販は軌道に乗りましたが、仕入れ販売では限界がありました。自社製品の販売へとシフトすることを検討しました。原点に戻って、そもそも眠るということはどういうことか、科学的な知識を会得するために社員全員で「睡眠健康指導士」の勉強を行いました。現在では社員全員がこの資格を取得しており、人事教育制度の一環として取り組んでいます。新たな経営理念を「快眠とくつろぎで明るい未来を作る」として掲げ、睡眠のプロフェッショナルを目指しました。これが第三の変革です。

商品も、お布団を中心に京座布団やクッションなどに広げ、顧客開拓の観点から、寝具を原点に、寝室インテリア、住宅の提案まで

に広がりました。業態としては建築業から住宅リフォーム業まで幅広く展開し、「眠れる空間の創造」を顧客に提案できるようになり、この分野での売り上げも増えてきております。

■第四の改革 (2012年) ものづくりへの回帰

ここまで、販売を中心に事業形態の変革を実行してきましたが、布団の製造業という「ものづくり」が主人公であることには変わりがなく、布団製造の設備を更新するなどのものづくりへの回帰を始めました。

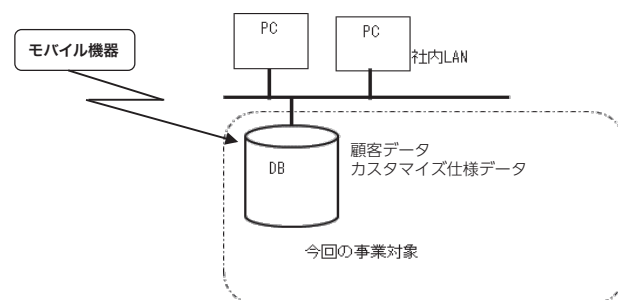
大量生産型のものづくりではなく、お客様の眠りをサポートするため、お客様にカスタマイズしたお布団づくりをメインに、付加価値を付けるものづくりへと変革を目指しました。

このものづくりの強化の一環として、「IT活用とものづくりを融合した高度なコンサルティング販売で快眠を実現する」事業を行うこととなりました。

事業の内容

寝具の製造販売から脱却して、「睡眠環境の提案」を通じてお客様へ快適な眠りを提供しております。2014年に本社を改修し、眠りの体験型スペース「ねむりの蔵」をオープンし、睡眠健康指導士等の専門人材によるコンサルティング販売を行っています。二階にはベッド、お布団や寝具を取り揃え、お客様との対話を通じて、お客様の眠りの状況や課題、希望などを伺いながら、お布団の素材や中の綿の量などを決めていきます。枕も重要で、実際にベッドに寝ていただき、素材や高さ、硬さなどを調整します。お客様ごとのカスタマイズ仕様は伝票に記入して製造現場へと回します。

ところが、お客様からのリピートオーダーを頂いた際に、紙の伝票を探さなければならず、すぐに対応できないという課題が発生しました。



データベース図

企業概要

1. 寝具・寝装品・ホームファッション事業
2. 眠りの支援事業
3. 住宅・リフォーム・建築事業
4. ものづくり・ワークショップ参加体験事業

主要製品

1. お布団：よりよい睡眠を実現するためのオーダーメイド寝具です。
2. 京和晒綿紗：素肌にふわり、「空気をまとう」やさしさです。
3. 日本のソファ：テトラ。新しいくつろぎの指定席です。
4. sonoso（その素）：自然の晒素材を使った衣食住のブランドです。
5. 睡楽上布：近江の麻をベースとしたリネン生地で作ったパジャマです。



商品 1



商品 2

主要取引先

有名旅館、ホテル、大手デパートなど

今回の事業取り組みの一つ目は、お客様のカスタマイズ仕様データを電子化してデータベースとして、簡単に検索できるようにしました。従来の顧客管理受注システムと統合し、社内ネットワークでのアクセスのみならず社外からのモバイルアクセスも可能としました。（データベース図）

事業取り組みの二つ目は、特注ミシンです。オーダーメイドの布団や枕を作る時、素材の生地もいろいろなものを使用します。薄いものから厚いものまでを使用するのですが、現状の縫製用ミシンでは対応できる生地の厚みに限界があり、お客様の要望に応えられないこともありました。それでミシンメーカーに相談し、厚手の生地まで対応できるミシンを共同開発して導入しました。幅も布団からクッションや枕まで対応できるものです。写真は導入した厚手生地対応ミシンと厚手のクッションです。



ミシン



厚手のクッション

事業の成果

カスタマイズ仕様データのソフトウェア環境が出来上がり、運用を始めてからまだ数か月ですが、本事業の成果でデータベースの構築が出来上がりつつあります。具体的な成果、売上への効果はまだ出ておりませんが、リピートオーダーのお客様がご来店された際に、

これまででは伝票を探し出して、そこから新たなカスタマイズを行うのに時間を要しましたが、本事業の成果で、スピーディになったとお声を頂きました。データベース構築の際には、仕様項目の見直しを行い、共有化と見える化ができたことも、大きな成果と考えております。

また、社外からのモバイルアクセスを活用できるようにし「ねむりの宅配®」サービスを行うようにしました。

ご来店できないお客様のところに出かけて、寝具や寝室のカスタマイズの相談を受けるのですが、このサービスのおかげで、通常は入れてもらえないお客様のプライベート空間である寝室まで当社の社員が入り、そこで、寝具だけでなく、寝室や家のリフォームの話までしていただけるようになりました。これは正に、寝具製造というものづくりから、寝室づくり、睡眠環境への提案から住宅リフォームへの展開という「眠れる空間の創造」としてのものづくりへと発展できる成果と考えております。

ターゲットとなるお客様は、眠りや生活の質を高めようという意識の高い方です。布団や寝具は量販店でそれなりの品質のものが安価に手に入る時代ですが、量販商品には満足されない、生活の質の向上を考えている方は京都には多くおられます。そのようなお客様に「睡眠に関するものづくり」を提供することで、眠りと生活に関する文化を京都から発信できることも成果であると考えております。

今後の事業展開

このように、当社は寝具（布団）製造から始まり、「睡眠環境」の提案から寝室、そして家のリフォームまで展開をしており、さらに加速させるといのが、今後の事業展開の一つです。二つ目としては、寝具から発展した商品群を輸出も含めて展開していくことです。

京座布団や日本のソファである「tetra」も布団製造で培った製造技術に新しい感覚のデザインを取り込んだ商品となっております。

「京和晒綿紗」はコットン素材を昔ながらの伝統製法「和晒」で無添加に仕上げたガーゼで、ベビー用品、パジャマやタオルなどの商品を展開しています。さらに「オーガニックコットン」を使用した商品も企画しており、安全安心な商品を提供する展開も考えています。

「睡楽上布（すいらじょうふ）」は亜麻布（リネン生地）を使用したシリーズで、丈夫で吸湿・放湿性にとても優れています。この生地を利用してパジャマやシャツなどを商品化しておりワンランク上の寝心地を提供します。

このように新たな「睡眠環境」を商品化して展開してまいります。